

年次総会

会員数43名、出席者24名

会員数の3分の1をもって、本クラブの年次総会の定足数とする

◆ 2020-21年度 会長エレクト、幹事エレクトの承認◆(敬称略)

2020-21年度 会長エレクト 嶽本幸次 幹事エレクト 柳龍一郎

◆ 2020-21年度 理事役員の発表並びにご挨拶◆(敬称略)

会長 山田吉盛	会長エレクト 嶽本幸次	直前会長 許斐義彦	副会長 北口功幸
幹事 野崎地平	幹事エレクト並びにS A A担当理事 柳龍一郎	会計 宮脇雅俊	
クラブ管理運営プロジェクト委員会担当	嶽本幸次	(出席、プログラム、親睦活動)	
会員増強プロジェクト委員会担当理事	山田孝二	(会員増強、会員選考・職業分類)	
公共イメージプロジェクト委員会担当理事	竹内幹也	(R情報・広報、クラブ会報・記録保存)	
奉仕プロジェクト委員会担当理事	中村一成	(社会奉仕、職業奉仕)	
国際奉仕プロジェクト委員会担当理事	古里安幸	(ロータリー財団、米山記念奨学)	
青少年奉仕プロジェクト委員会担当理事	石山俊介	(青少年、インターアクト)	



2019-20年度半期報告 会長 許斐義彦

半期が終了しようとしています。今日はその報告をさせていただきます。

7月最初の例会で、大上段にかまえて運営方針、活動方針を述べさせていただき、頼もしい幹事、副会長、各理事さんに恵まれてスタートしましたが、「あっ」と言う間の半年間でした。毎週の例会での会長挨拶のネタ探し、それを文章にすることや、年間スケジュールで決められている地区の研修会や、西クラブの行事

に出席することで精一杯の半年間でした。そこで、この半年間について反省しながら振り返ってみたいと思います。7月2日から始まりましたが、その当日会長、幹事のバッチ交換を受けて、「自分が長崎西ロータリークラブの会長なんだ！」と自覚しました。また、嬉しいことにその日に尾本さんが入会され、幸先の良いスタートとなりました。その時、何かこの1年新入会員が続いて入会されるのでは？という甘い予感がありましたが、尾本さんの後が続きません。栗原会員が10月末日に退会されましたので、今日現在、増員なしです。あと半年間で1～2名の新入会員を皆さんで勧誘しましょう！！お願いします。7月9日の例会には、地区インターアクト委員長の徳川さんが、インターアクト年次大会の件でお願いにみえられました。インターアクト年次大会の実行委員会の組織作りは、川瀬会長時代に劉実行委員長、北口副委員長のもとで出来上がり、既に2月5日には第1回の実行委員会を開催していました。また、海星高校インターアクトクラブとの連絡、情報交換は、当時のインターアクト委員長の深堀会員はじめ、川瀬会長、山田幹事が頻繁にされていました。また、テーマも海星高校インターアクトクラブで「ともに生きる」に決めてあり、ただ、基調講の演者に於いては、最初は「ジャッパネットたかた」の当時の高田社長さんと交渉されていましたが、日程調整がうまくいかず、急遽江上会員のご紹介で、国境なき医師団の元会長の黒崎伸子先生にお願いすることになりました。そして、8月3日の当日を迎え、大きなミスもなく海星高校インターアクトクラブと共に、提唱ロータリークラブとしての役目をパーフェクトに果たすことができましたと思っています。実行委員会の皆さん、また参加者の皆さん、ありがとうございました。8月20日には、浦ガバナー補佐、8月27日は、千葉ガバナーの公式訪問があり、緊張の連続でしたが、指導や指摘事項もさほどなくて、長崎西ロータリークラブを良く理解していただき、無事終了することが出来ました。8月20日の理事会では、2020～2021年度の地区ガバナー補佐候補に江上会員をお願いし、快諾していただきました。また、来年6月頃(日にち未定)までの事務所立ち退きの件は、移転先を島田会員の『大和屋ビル』702号と決定しました。現在の事務所とほぼ同じ間取りで、家賃は現在

より安くして頂きました。9月5日は2740地区第9、10グループの会長、幹事会を西クラブがお世話させていただき開催しました。協議題としては、8月のガバナー公式訪問の時にアドバイス頂いた「クラブの悩み、困りごと」を各クラブに述べていただきましたが、どこも悩み事は同じ、会員数の減少、出席率の低下でした。我々のクラブでは、今年度は出席委員会の安永委員長のアイデアで、メンバーの結婚、入会、誕生記念日には、出席の自覚をうながす案内状を差し上げて出席率の向上にむけて努力されていますので、ご協力よろしくお祈いします。9月6日には、三宅会員のお世話で長年続いています恒例のマリア園の毛布クリーニング奉仕を行いました。社会奉仕委員長の田中豊俊会員を中心に搬出9名、搬入9名の参加があり、NCCのニュースで放映していただきました。石山会員ありがとうございました。10月1日の観月例会は、ご夫人同伴例会で、長崎西ロータリークラブ創立35周年記念例会でした。35周年記念品として、会員にはネーム入りのボールペンを作り配布しました。島田会員お世話になりました。また、マリア園、浦上養育院、明星園にはそれぞれ、それ相当額のご希望の品を35周年記念品として贈呈しました。10月8日は、友好クラブの藤沢南ロータリークラブの長崎ご来訪の歓迎会を長崎検番を入れてサンプリエールで行い、大変喜んで帰路に着かれました。この友好関係が約30年続いている背景には、島崎会員のご尽力のおかげと感謝しています。10月の理事会では、来年5月10日に行われる2740地区第9、第10グループの親睦ゴルフコンペの担当クラブとしての実行委員会を立ち上げ、実行委員長を日高会員にお願いしました。よろしくお祈いします。当日は様々な仕事がたくさんありますので、ゴルフできない会員も是非ご協力よろしくお祈いします。11月5日の理事会では、2020-2021年度会長エレクトに嶽本会員、幹事エレクトに柳会員が選出されました。また、協議として日高公共プロジェクト理事から、「今のままでは会員減少が続くのではとの危機感が募る。積極的に会員増強をひとり一人が考え、行動してはいかがか？」との意見出され、理事者一同賛同しました。その件につきましては、会員増強委員長の平山会員が12月3日の例会時に報告されましたように、助成金申請書ができあがりましてので、わずかな金額ですがその助成金を使って色々の集まりに顔を出して頂き、某クラブのように護送船団方式勧誘ではなく、長崎西ロータリークラブの勧誘パンフレットも地味ですが作りましてので、誠意ある勧誘を少しづつやってみようように皆さんよろしくお祈いします。11月8日の地区大会前日に『危機管理セミナー』があり、嶽本幹事と出席しました。ロータリーの交換留学生の危機管理についての研修会で、留学生の交通事故、ホームシック、ホストファミリーや学校でのトラブル、不純異性行為、薬物（マリファナなど）、自然災害時の連絡の取り方の話がありました。

11月12日の長崎みなとロータリークラブとの合同例会では、我々西クラブが今年度のお世話係でしたので、山田吉盛会員の奥様のサークル仲間の方にフラダンスを余興にお願いして、大いに盛り上がりました。

11月19日の西会では、島田会員の『ロータリーのニコニコ袋とは？』の研修会があり、過去5年間の西クラブのニコニコ袋の金額の推移、利用方法のお話しがあり大変勉強になりました。因みに今年度から会員減少、また諸般の事情を鑑みて、ニコニコの目標額は150万から120万円に下げましたが、11月26日の時点では394,700円と5か月間の目標までいっておりませんので、あと7か月間で是非目標額に達するようにご協力お祈いします。また、ロータリー財団寄付や米山記念特別寄付の方も、目標額にほど遠い状態ですので、こちらの方もよろしくお祈いします。次に、短期目標の中で「ロータリーの友」に投稿して、長崎西ロータリークラブの存在感をアピールすることを掲げました。私が投稿した文章が、9月号の“声”の欄に掲載されました。また、続いて同月号の“パズルdeロータリー”の問題を解いて応募しましたところ、当選しまして、先週賞品としてロータリーの友のネームが入った『モバイルバッテリー』が届きました。

また、事務局の中田さんが毎週書かれています週報のはしがき端緒が素晴らしいので、その件について「ロータリーの友」に投稿を誰かに投稿していただこうと本人に打診しましたが、投稿を固辞されて未だになつたままです。誰か皆さん投稿やクイズに挑戦して頂き、長崎西ロータリークラブを内外共に盛り上げて頂きたいと思ひます。最後に半年間の報告、反省から少し外れるかもしれませんが、気にかかったことをひとつお話しします。地区委員会の委員の決定の仕方についてですが、今年度の場合は、あるひとつの委員会では、当クラブに相談なしに本人に直接お祈いし、本人がクラブに相談なく承諾した事例があり、地区からの事後報告に大変困惑しました。いずれにしても、あと半年間皆さんと一緒に頑張りたく思ひますので、これまで半年間の倍以上のご理解、ご協力をよろしくお祈いします。